

にしおおやまいせきしゅつどばぐ  
西大山遺跡出土馬具が県重要文化財に

平成29年3月10日、西大山遺跡から出土した馬の口にかませる馬具が、県指定重要文化財に指定されました。

この馬具は、平成7年度の発掘調査で、白倉地内に所在する西大  
山遺跡から出土したものです。

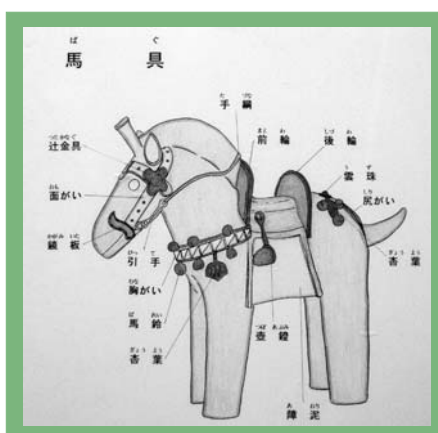
また、朝鮮半島に由来を持つと考えられる古墳時代（5世紀）の轡くわで、この時期の轡として確認できる確実なものとしては県内唯一であり、きれいな状態で残っています。



県指定重要文化財に指定された馬具  
(轡は鉄製で鑢は木質)

この轡は、日本における初現期の形式の馬具であり、馬が銜える部分の鉄棒はねじって造られていることから、朝鮮半島で製作されたものと考えられます。轡が馬の口からずれないようにするための鏡板の代わりに、木質の鑣ひょうと呼ばれるものを使用した、鑣轡という種類の轡です。

馬具は現在、県立歴史博物館（高崎市）で展示中（5月31日まで）で、その後、甘楽古代館（白倉）で展示します。



— 地域おこし協力隊が行く —

「今の自分をつき動かすもの」



浅井 広大

甘楽町と初めて出会ってから  
5年の歳月が経とうとしています。

初めて甘楽町に来たのは、NPO法人自然塾寺子屋(上野)が行う青年海外協力隊の派遣前研修がきっかけでした。甘楽町のたくさんの方々、特にしいたけ農家さんにお世話になり、福島原発事故で大変な中、惜しげもなく栽培技術や経営方針などを教えていただきました。

自らの最低限の務めとして、この地で教えていただいた知識をもとにネパールでヒラタケ栽培の普及に取り組みました。そして栽培技術を習得した若者が、村の集まりに有望な若手農家として出席を要請されるようになったり、女性グループが一昨

年の大地震で崩壊した家屋を立て直す資金を稼いだすなど、小さまざまですが実を結びました（決して成功ばかりではありませんが…）。

ネパールで「おれは○○(土地の名前)のゝだ!」と生まれた土地の名前を誇り高く口にする農家さんらと出会い、その土地に深く根を張って暮らしていることに気づかされ、胸が熱くなりました。それも甘楽町での学びがあったから築けた関係ですし、何より農村部での生活経験のなかった自分にとっては、ネパールの農家さんと自然相手に身一つで生活を営んでいる甘楽町の農家さんの姿が重なることが大きな衝撃でした。

その衝撃は、今この地に根を張つて生きていこうという想いに変わつています。たくさんの方々に支えられての自分ですが、精一杯力を尽くしていきたいと思います。

## 住宅用太陽光発電設備 設置補助金制度をご利用ください



町では地球温暖化対策の推進、新エネルギーの普及促進を図るため、住宅用太陽光発電設備を設置した人に、その費用の一部を補助しています。

**補助金額** 1キロワットあたり…2万5千円(上限10万円)

ただし、町内業者施行の場合、1キロワットあたり1万円の加算があります(上限14万円)

なお、申請は電力会社との電力連結完了後になります。

※詳細はお問合せください。町ホームページにも掲載しています。

■問合せ先 健康課環境係 内線 251

### 善意の紹介

◎茂木さと子さん(小幡)

公共施設で役立ててもらえればと、バラ45株を寄付されました。茂木さん宅のバラを長年世話してきた加藤康宏さん(秋畑・加藤造園)が、甘楽町をイメージできるよう植栽整備してくれました。



甘楽総合公園噴水施設を再利用し  
植栽されたバラ

◎土屋幸美さん(富岡市)

段飾り雛人形を寄付されました。



旧いづみや商店に展示された雛人形

長岡今朝吉記念ギャラリーをメイン会場に町内15個所で雛人形展を5月31日まで開催しています。多くの皆さんがご覧ください。

### おわびと訂正

- ・2月号8ページで紹介した、人権擁護委員横山恵子さんの任期を平成28年1月1日からとお知らせしましたが、平成29年1月1日からが正しい任期です。
- ・3月号5ページ「富岡製糸場を支えた御用石」の出典紹介中、「かたわれの槌音」と掲載しましたが、正しくは「かわたれの槌音」です。  
おわびして訂正させていただきます。